

食品市場新聞

発行所
㈲食品市場新聞社
〒652-0844
神戸市兵庫区中之島1丁目1-4
電話(078)681-1046番
FAX(078)681-3824番
http://www.sssnews.co.jp
購読料(1ヵ月)3900円

倉敷青果荷受組合

タマネギの国産利用拡大

2回目の農水大臣賞を受賞

第4回「国産野菜の生産・利用拡大優良事業者表彰」の審査結果が22日に発表され、倉敷青果荷受組合などで構成するグループが、農林水産大臣賞に選ばれた。同組合の大臣賞受賞は2回目。タマネギ皮むき機の導入により、中国産から国産へ切り替えたことが評価された。

同組合カット野菜部では、タマネギのスライスやみじん切りは機械化していたが、手作業の皮むきは高コストにつながる

ため、主に中国産の皮むきタマネギを使用していた。ユーザーから国産要望が強まっていることを受け、農水省の「国産原材料サプライチェーン構築事業」に申請。昨年3月、その補助金を充て総額6000万円で自動皮むき機一式を導入し、土物専用の一次処理加工施設(27.5平方



タマネギ一次処理を機械化

メートルを新設した。国産タマネギの安定確保に向け、既に取引のあったJA倉敷かさや笠岡営業センターだけではな

く、真備根菜類生産者組合(倉敷市)、因島玉葱生産者組合(広島県)、(株)いだ農園(長崎県)とも契約を締結。北海道

産を加えた国産の周年供給を確立した。

同組合は98年、「洗淨殺菌カット野菜」の工場を倉敷市地方卸売市場内に設置。拡張工事を繰り返しながら設備を充実させ、西日本最大級規模のカット洗淨野菜の拠点にまで成長した。09年4月には卸売市場業界で日本初となる「ISO22000」を取得。安全性の

高い商品の供給に取り組んでいる。

表彰式は3月16日に農水省7階講堂で行われる予定。表彰式後には「加工・業務用野菜生産拡大セミナー」があり、農水省農林政策研究所の小林茂典氏による講演や、各地の事例紹介がある。